

平成24年8月度情報発信 No. 47

貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

関西地区では厳しい残暑が続いています。熱中症対策が欠かせない時節で、もう少しの間健康管理に気を配る必要が肝心です。また、人間のみならず、草木に毎日散水するのも生易しくはありません。夕方、蚊と格闘しながら、水遣りを何とか続けています。

これだけ暑さが続くと、物事に集中し、効率よくやるのも大変です。年齢相応に、こつこつとやるしかないと思うこのごろです。

平成24年6～8月末日にかけての活動状況を下記に報告致します。

1) 特記事項

- ① 日中会話授業（神戸、6/5）
- ② KITA（公益法人 北九州国際技術協力協会）主催の 腐食防食セミナー（北九州市、6/14）。毎年、北九州市八幡で行われているもので、当方の分担として、1日かけて金属材料の腐食の基礎及び応用について講義した。出席者は17名であった。受講者からの講義に対するアンケートとして、講義内容及び教材はほぼ満足して頂いたが、内容をもう少し平易にして、教科書に沿った講義を望まれた。（写真1 授業風景）
- ③ L社における腐食防食の打ち合わせと実験（北九州市、6/15）
コーティング用の試験片の製作を会社の人と共同で行った。また、EPR(ステンレス鋼の電気化学的評価法)についても質疑応答した。
- ④ 日中会話授業（神戸、6/16）
- ⑤ W社から来社。 釘のフックボルトの腐食問題について打ち合わせ（6/21）
- ⑥ 大阪技術振興協会 技術士セミナー講師（大阪、6/23）
- ⑦ 日中会話授業（神戸、6/30）
- ⑧ W社から来社。 釘のナット及びボルト間の防食技術についての打ち合わせ（7/5）
- ⑨ 日中会話授業（神戸、7/7）
- ⑩ 大阪技術振興協会理事会（大阪、7/13）
- ⑪ さびサイエンス研究会、前会長の故三澤俊平室蘭工大名誉教授のお墓参り（室蘭、7/26）
- ⑫ 室蘭白鳥大橋つり橋の見学（室蘭、7/27）
室蘭にかかる白鳥大橋つり橋の防食状況を見学した。橋長さは1380m、主塔高さは139.5mで、見学に鉄梯子を登る際、足のすくむ思いがしたが、無事に見学を終えることが出来たときは、ほっとした。（写真2及び3）
- ⑬ 北海道夏季腐食防食セミナー（室蘭、7/27）
講演内容として、
 - 1) 白鳥大橋の概要と維持管理について 北海道開発局 松島哲郎氏
 - 2) 凍結防止剤が散布される耐候性鋼橋梁の維持管理 (株)四電技術コンサルタント 三浦正純氏
 - 3) 沖縄における鋼材の腐食と腐食環境評価 琉球大学 押川渡氏
 - 4) 鉄鋼さびの科学とさび層による防食 北海道大学 大塚敏明氏上記の講演において、2)は凍結防止剤についてはほとんど触れられず、期待はずれであった。4)はさび研究の総まとめで、大変興味のある講演であった。
- ⑭ 大阪技術振興協会の情報誌 Associate Informationに「二相ステンレス鋼の開発とその発展」を投稿した。（添付資料）
- ⑮ 第5回腐食防食セミナー「腐食の基本と防食の実際—腐食問題解決法の習得」（大阪大学、8/2）（写真4）

50名の出席者を得て、盛況裡に行われた。講演内容は、7人の講演者により腐食防食の各種テーマについて語られた。小生のは、「腐食は何故起こり、どうしたら防げるか」で1時間講演した。

⑯ 0社から来社、国際会議発表の件（8/9）

⑰ 屋根の腐食原因の調査会議（大阪、8/10）

スレート屋根を固定する釘（亜鉛メッキ+樹脂塗装の2層構造）の腐食・欠損事例に対して、屋根構造の専門家、釘メーカー、腐食の専門家で打ち合わせた。

⑱ 日中会話授業（神戸、8/22）

⑲ 防食性塗料のコーティング研究会（弊社、8/28）

1) 弊社が販売に関与する新防食性塗料の塗装の仕方について、デモを行ってもらった。塗料の種類は3種類で、いずれ塗料も安定さびを生成することにより、塗装される材料の寿命を従来的一般塗料と比較して大幅に向上する。用途は、鉄鋼及び亜鉛メッキ鋼材に適用するもので、鉄塔、橋梁、タンク、配管の塗装に向いている。

PL-F:鉄に適用する。

PL-Z:亜鉛メッキ材料に適用する。

PL-Galva:鉄 或いは 亜鉛メッキ材料に適用する。（写真 5 及び 6）

以上



（写真 1 授業風景）



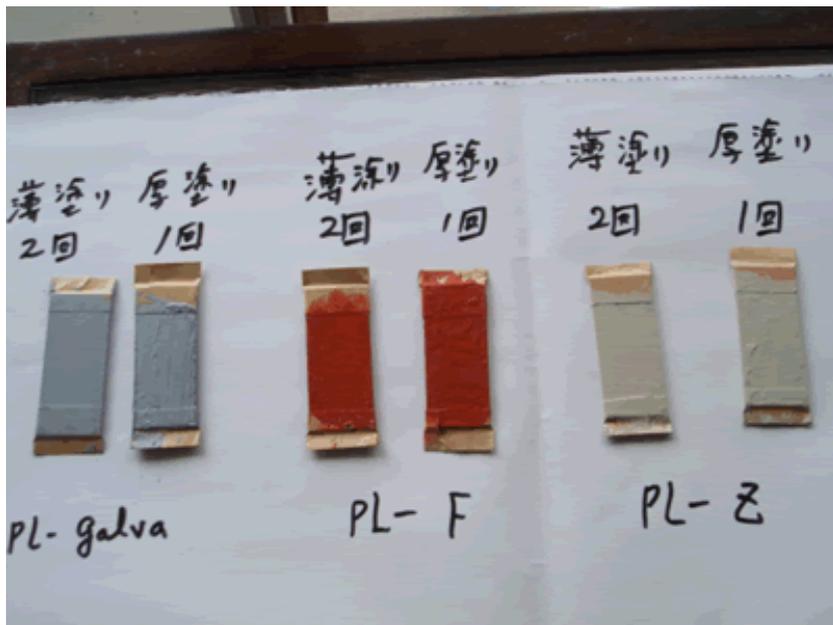
（写真 2）



（写真 3）



(写真 4)



(写真 5)



(写真 6)